

2018年8月3日

英国の欧州連合からの脱退(ブレグジット)の信用格付への影響について

S&P グローバル・レーティングは、2016年6月に行われたブレグジットの国民投票以降、EU(欧州連合)域外の関連する法人が付与した信用格付がブレグジット後も引き続きEUの規制目的で利用できることを確保するために尽力してまいりました。

2018年8月1日までに、EMEA(イスラエルを除く)で業務を展開していたS&Pグローバル・レーティングの法人は、ダブリンを本拠地とするアイルランド企業であるS&P Global Ratings Europe Limited (SPGRE)と合併しました。

SPGREは、ダブリンにおいて信用格付を付与するのみならず、S&Pグローバル・レーティングのロンドン、パリ、ミラノ、ストックホルム、モスクワ、フランクフルト、マドリード、ドバイおよびヨハネスブルグの拠点(これらの拠点はSPGREの支店となりました。)を通じて引き続き信用格付業務を行います。それぞれの合併に伴い、これらSPGREの支店が付与した信用格付は、信用格付機関に関する規制(EC) No.1060/2009(その後の改正を含み「規制」といいます。)に基づき、ダブリン所在のSPGREが付与した信用格付とみなされます。

SPGREは、規制に基づき、欧州証券市場監督局(ESMA)に登録されています。